

案署長ニ於テ會社並ニ兩組合間ノ紛糾ニ努メタル結果本月十二日
ニ至リ一舊先記案件ヲ以テ解決セリ

記

- 一、事件巨致者五名中芦川ニ部(芦川ハ本月七日令狀執行ナル
他ノ四名ハ本月五日釈放シ四名共恩式ニテ罰金刑ヲ科セラル
、予定)ハ事件責任者トシテ空罰解在ス
 - 二、支部長依藤蓮太郎外三名ハ従前通り使用スルコト
 - 三、事件関係者ハ本日午後六時三十分會社ヲ訪問シ口頭ニテ謝罪
スルコト
 - 四、前記依藤蓮太郎外三名ハ明日ヨリ作業ニ服スルコト
- 右及申(通)報候也

① / ③

常務理事 勞務第六八號

勞働課長 昭和十年一月十六日

事務主任

内務大臣 後藤 文夫 殿
社 會 局 長 官 殿

株式會社共益電氣製作所勞働爭議ニ関スル件 發生ニ解決

十二月二十三日勞働賃率新調ノ極意場ニ爭議發生ス

要旨 十二月五日以前數次勞資會見交渉、結果共益會社ノ約割ノ支拂ニ對シ本年百支支拂ノ

コトノ解決

標記工場ニ勞働賃金未拂ニ發端勞働爭議發生セルカ狀況左記、
通リ

記

一、爭議發生ノ場所

警視廳 小 栗 一 雄

發生	ニ	三	三
使用勞働者	一	五	
爭議参加者	一	二	
關係勞働組合			

解決 一 三 三

6032

概